

宇治市産業戦略

～ 広がる、生まれる、進化する

“産業交流都市・UJI”～



平成31年3月



宇治市

はじめに

本市は、高度経済成長期に京都や大阪のベッドタウンとして成長してきましたが、人口減少や少子高齢化の進行が見込まれる中、本市の人口は平成27年（2015年）の約19万人から30年後（2045年）には約15万2千人に減少するとともに、生産年齢人口は平成27年（2015年）の約11万4千人から30年後（2045年）には約7万9千人となり、働き手の不足が続くことが予測されています。



こうした背景の中、持続的に発展するまちを目指すためには、市内経済を活性化させることが必要であると考えておりますことから、宇治市第5次総合計画第3期中期計画の重点的施策であります“戦略的な産業活性化の推進”に基づき、本市のこれからの産業振興策を示す「宇治市産業戦略」を策定いたしました。

この「宇治市産業戦略」では、「広がる、生まれる、進化する“産業交流都市・UJI”」をコンセプトに、まずは、市内産業のさらなる成長、発展に向けて支援することに重点を置きながら、市内外の企業や事業者、関係団体、人材等との連携や交流を強化し、市内の経済循環を促進することにより、市内経済の活性化を目指します。加えて、時代のニーズに合わせた多様な起業家を輩出することを目指すとともに、未来の宇治を見据え、新たな工業用地の確保や市外からの企業の誘致に取り組むこととしています。

今後は、市の関係課や国・京都府関係機関、産業支援機関、金融機関、大学等と連携しながら、市内経済の活性化に向け「宇治市産業戦略」に位置付けた各種の取組を、着実に進めてまいります。

結びに、本計画の策定にあたりまして、熱心にご論議いただき、貴重なご意見やご提案をいただきました宇治市産業戦略策定会議の委員の皆様をはじめ、アンケートやヒアリングにご協力いただきました各企業や関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

平成31年（2019年）3月

宇治市長 山本 正

目 次

第1章 戦略策定の趣旨

1. 戦略策定の背景と目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 宇治市第5次総合計画における位置付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
3. 計画期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

第2章 宇治市産業の現状と課題

1. 宇治市を取り巻く社会情勢や経済情勢・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
2. 宇治市産業の特徴・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
3. 宇治市産業における課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
4. 本市のこれまでの取組と課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

第3章 産業戦略の目標と方向性

1. 産業戦略の目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
2. 産業戦略の取組の方向性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
3. 産業分野ごとの目指す姿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28

第4章 具体的な取組内容

1. 施策の体系・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
2. 具体的な取組内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31

第5章 推進体制

1. 産業戦略の推進体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42

参考資料

1. 計画策定の経過・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
 2. 宇治市産業戦略策定会議設置要綱・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46
 3. 宇治市産業戦略策定会議委員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
- 宇治市産業戦略の策定に係るアンケート調査報告書・・・・・・・・・・・・ 49

第1章 戦略策定の趣旨

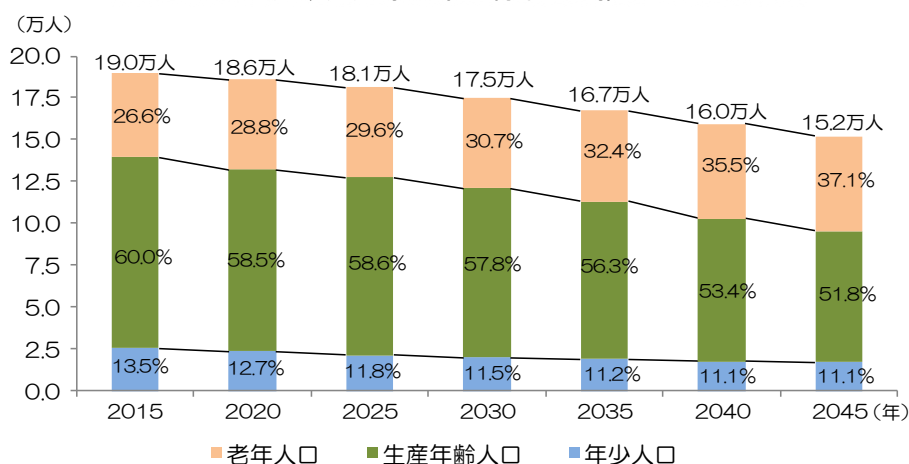
1. 戦略策定の背景と目的

(1) 戦略策定の背景

① 人口減少と少子高齢化の進行

宇治市の人口は減少に転じており、2015年（平成27年）から2045年までに総人口は約19.9%減少、高齢化率（65歳以上の人口が占める比率）は、約26.6%から約37.1%へ高まる一方で、生産年齢人口率（15～64歳の人口が占める比率）は約60.0%から約51.8%へ低下すると予測されています。総人口が減少する中で生産年齢人口率も低下するため、地域経済の担い手の減少が懸念されます（図表1）。

（図表1）宇治市の将来人口推計



資料：宇治市資料「宇治市の将来人口推計」（平成29年（2017年）5月）

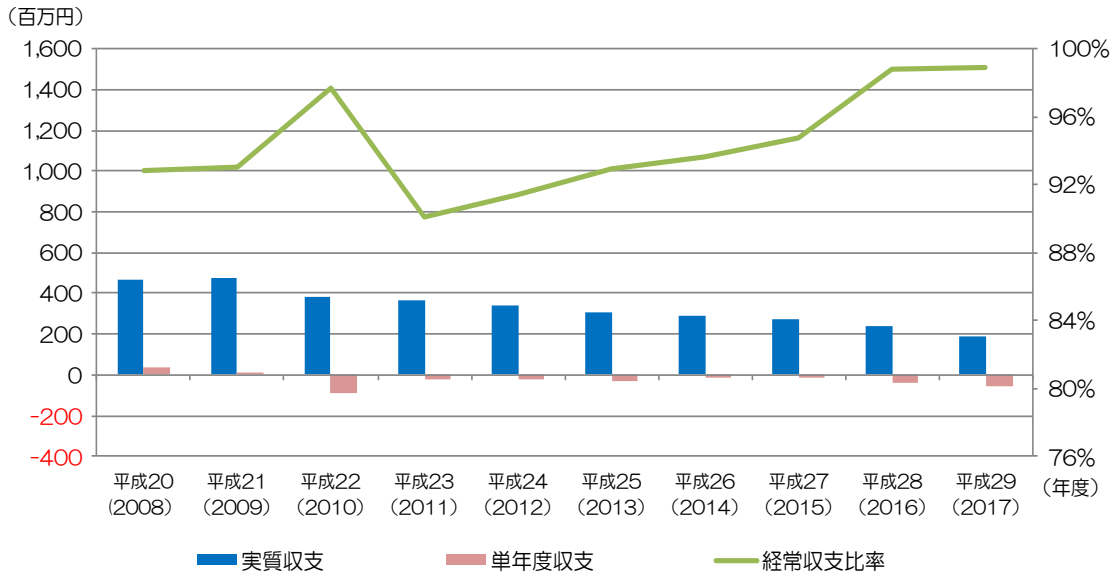
② 宇治市の産業をめぐる環境の変化

グローバル化に加え、アジア等の新興国の急速な経済成長により、様々な産業において世界的な競争が激化しています。さらにIoTやAI、ロボット等の新技術の急速な発展、地球環境問題の深刻化、日本国内における産業構造や消費者行動の変化、働き方に対する意識の変化等、産業をめぐる状況が大きく変化しています。こうした変化に本市の産業も無関係ではなく、新たな対応が求められています。

③ 宇治市の厳しい財政状況

宇治市では市税収入が減少傾向にある一方で、扶助費（福祉サービス等）等の義務的経費は増加傾向にあります。経常的な収入（市税収入等）に対する経常的な支出（義務的経費）の比率を示す経常収支比率は、平成29年度（2017年度）決算において98.9%と弾力性の低い硬直した財政構造となっており、市内経済の活性化を通じた市税収入の確保が求められています（図表2）。

(図表 2) 宇治市の実質収支・単年度収支・経常収支比率の推移



資料：宇治市資料「宇治市普通会計決算概要」(平成 29 年度 (2017 年度))

(2) 戦略策定の目的

宇治市の産業振興についての方針を示し、具体的な取組を進めることにより、市外からの需要や人の流れを呼び込むとともに、市内の経済循環を促進することにより市内経済を活性化させることを目的として策定します。

2. 宇治市第5次総合計画における位置付け

宇治市第5次総合計画（平成 23 年度（2011 年度）～平成 33 年度（2021 年度））では宇治市が目指す都市像に向けた6つのまちづくりの方向性が掲げられており、「大分類 2 ゆたかな市民生活ができるまち」において、産業振興のために、農林漁業・茶業、商工業への支援を実施し、新たな産業の育成や産業基盤整備を推進し、雇用に関する施策の充実に努めるとの方針を示しています。また、第5次総合計画の第3期中期計画（平成 30 年度（2018 年度）～平成 33 年度（2021 年度））における8つの重点的施策の中では「3. 戦略的な産業活性化の推進」を掲げており、ここに産業戦略は位置付けられます（図表 3）。

3. 計画期間

産業戦略の計画期間は、概ね 10 年先までを見据えつつ、平成 31 年度（2019 年度）から平成 33 年度（2021 年度）までの3年間における施策の方針を定めるものとします。

(図表 3)

